

第 28 回技術倫理協議会議事録

日 時 2009 年 11 月 24 日 (火) 17:30~19:30

会 場 土木会館 A会議室

出席者 議長：池田（土木）、幹事：櫛田（技術士会）、三木（電子情報通信）

委員：札幌（工学教育）、剣持（工学教育）、皆川（土木）、水野（技術士会）、
高橋（建築）、増田（建築）、矢野（原子力）、大輪（機械）、
宅間（工学アカデミー）、山田（工学アカデミー）、伊藤（化学）、後藤（化学）、
島田（電気）、上田（電気、瀧澤代理）

事務局：佐藤（土木）

配布資料

技術倫理協議会 委員名簿（2009.11.24）

資料－1 第 27 回技術倫理協議会議事録(案)

資料－2 技術倫理教育の実態調査アンケートの結果(案)

資料－3 技術倫理協議会 第 5 回公開シンポジウム(案)

資料－4 技術倫理協議会 第 5 回公開シンポジウム予算案

参考資料－1 月刊「技術士」2009.11（通巻 513 号）

参考資料－2 紙上フォーラム「技術者倫理なのか技術倫理なのか」

主要な議事

委員変更：佐々木委員から瀧澤委員（電気学会）

1. 前回議事録確認（資料－1）

事務局から資料に基づき説明があり、シンポジウムの開催会場名を「日本建築学会」から「建築会館ホール」に変更すること、各学協会の活動状況報告に関して未報告学会名を削除することで議事録を了承した。なお、細部について修正事項がある場合には事務局に連絡することとした。

2. 技術倫理教育の実態調査アンケートの結果について（資料－2）

皆川委員から、9 月末まで期間延長したアンケートの集計結果について報告があった。

- ・ 回答数が 38 件増加して、208 件となった。
- ・ 自由記述には示唆に富むところがあり、シンポジウムまでに分析を加えたい。

委員から以下のような意見、コメントが示された。

- ・ 倫理教育を実施しているところから主に回答が寄せられるので、実施していない数字も把握できると興味深い。
- ・ 倫理教育は実施しているが、教育機関が倫理的に運営・行動しているかとの経営者の倫理観の課題がある。本件には幾つかの意見交換があった。
- ・ 回答機関に関して、機関別などのソーティングが出来ると良い。情報保護に配慮した上で、CD でのデータの配布が望ましい。
- ・ シンポジウムでは、「取り組むべき課題」が示されると良い。

3. シンポジウムの開催計画（資料－3、4）

札幌委員から、資料に基づいて開催計画及び予算案が提案され、審議の結果、以下の方針を確認した。

- ・ 日時 ; 12月14日(月) 10:00～16:00
- ・ 会場 ; 建築会館ホール
- ・ 主催等 ; 技術倫理協議会主催（構成学協会名列記）。
- ・ 後援予定 ; 日本工学会、日本技術者教育認定機構
- ・ 参加費等 ; 参加費無料、資料代1000円、懇親会参加費2000円
- ・ 構成 ; 以下のプログラムで構成する（詳細は資料参照）
 - 司会進行(札幌委員)
 - 開会挨拶及び趣旨説明(池田議長)
 - アンケート結果報告(皆川委員)
 - 協議会内部講師(長島アトバ付、札幌委員)
 - 外部講師 : 小林(熊本高専)、藤木(室蘭工大)、岸田(明大)
 - パネルディスカッション ; 発表者+電気学会、日本原子力学会、日本建築学会
 - 閉会挨拶(櫛田幹事)
 - 懇親会

準備に向けて、以下のように確認した。

- ・ 電気、原子力、建築各学会委員は、11月27日までにパネリストを札幌委員に連絡する。
- ・ 講演資料は12月4日までに札幌委員に送付する。
- ・ シンポジウム企画書を技術倫理協議会HPほか、各学協会のHPに掲載するとともに、関係者に案内する。
- ・ 申し込み先は札幌委員とする。

4. 技術倫理協議会の今後の運営体制

- ・ 池田議長からの提案（前回詳細資料）に基づき、次回協議会までに、各委員は所属学協会に報告し了承を取り付けることを確認した。
- ・ 4月22日開催の日本工学会総会で承認を得る予定。

5. その他

- ・ 工学教育 :
- ・ 機械 : 機械学会年次大会の中で「法律と倫理の境界と学会の役割」というテーマでワークショップを開催（9月14日、岩手大学）した。参加者は20名程度と多くはなかったが有意義な議論が行えた。今年度の委員会の課題である行動指針については、「技術倫理委員会から会員へのメッセージ」のような形で、困った時の対処法を示したいと考えている。
- ・ 電気 : 倫理委員会議事録をHPへ掲載したほか、企業・教員・学生による技術者倫理座談会を実施し会誌10月号へ掲載するなどの周知活動を実施している。教育支援活動としては、事例集を用いて第2回倫理研修会を9月に実施した。

- ・ 工学アカデミー：会員向けの機関誌に参考資料2のような内容で、技術倫理と技術者倫理の考え方についての討論ペーパーが掲載されたので紹介した。
- ・ 化学：引き続き、化学分野を中心とした事例集の策定を行っている。また、来年3月の春季年会期間中に第6回倫理シンポジウムを開催予定であり(3月26日、会場は近畿大学本部キャンパス)、詳細プログラムが決まればお知らせします。
- ・ 建築：今年度、倫理委員会傘下の「教育・研究プログラム小委員会にて「倫理教育プログラム開発のためのガイドブック」を、教育機関向け、企業向けにそれぞれ作成を進めており、年度内には第一版の発行予定
- ・ 原子力：倫理規定の改定を実施中。主な改訂内容は、前文に、時代認識すなわち倫理的な活動、説明責任が果たせる活動が求められている旨を記載、また行動の手引きに「核セキュリティ確保への注意」と「可能性へのチャレンジ」を追加。11/26の理事会で承認予定。
- ・ 技術士：倫理要綱の改訂に向けて、内容の検討を継続している。シンポジウム、セミナーを開催するため、具体化に向けて検討している。
- ・ 土木：倫理社会規範委員会（委員長＝会長）にて活動中である。3年越しの懸案であった処分規定について、倫理規程遵守、反した時の処置（除名、特典停止、厳重注意）および支援を細則に規定することで理事会の承認を得た。今後、公益法人化にあわせて施行する予定である。
- ・ 電子情報通信：倫理綱領改定を終え、現在は行動規範と事例集の作成を行っている。また、倫理問題に対する罰則の在り方について議論している。3月に東北大で開催される総合大会にて「技術者倫理に関する学会の取り組み」についての特別企画を計画している。
- ・ 次回は、2月18日（木）17:30～19:30に土木会館A会議室で開催する。

以上